

2025年度（令和7年度）保育所における自己評価

清泉ひかり愛育園（清泉愛育園グループ）

今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かせるような内容で評価します。

評価方法：

- （１）全職員へのアンケート実施
- （２）アンケート集計をもとに自己評価委員会にて議論及び評価の決定

評価について：

A（大変良い）、B（良い）、C（一部検討を要する）、D（改善を要する）の４段階で評価します。

項目ごとに、意見・改善策を記述します。

		8月評価								3月評価					
内容		A	B	C	D	意見・対策				A	B	C	D	意見・対策	
保育内容に関する評価															
1	保育所の職員らが、すべての子どもについて、一人一人の存在とその人権を尊重していますか？		○			子ども一人ひとりに向き合って保育を行っている。保育人数等余裕があるとより一人ひとりの子どもに寄り添うことが出来る。				○				前期の振り返り時より余裕が出来はじめ、落ち着いて保育する場面が増えてきている。	
2	保育所の職員らが、子どもたちに身体的な苦痛を与えたり、人権をはずかしめたりするなど、精神的苦痛を与えることがないようにしていますか？	○				全職員が、子どもの人権と人格を尊重することの重要性を深く理解し、その理念に基づいて保育を行っている。また、職員が無理なく余裕を持って保育にあたれるような人員配置や業務分担がなされており、ストレスや疲弊による不適切な関わりが発生しにくい職場環境が整っている。				○					
3	不適切保育（園内で行われる心身における虐待など）が行われないよう、適切な保育が実施できていますか？	○				不適切な保育の具体的な行為（人格を否定する言葉、脅迫的な言葉がけ、乱暴な関わり、差別的な扱いなど）について明確な知識を持ち、それが許されないという意識が共有されている為。また、主任や管理者による日常的な巡回や、職員同士による相互観察など、日々の保育を多角的な視点で振り返る仕組みが機能している。				○					
4	個人情報の保護に配慮し、園児やその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか？	○				園として個人情報保護に関する明確な規定やマニュアルを策定し、全職員がいつでも確認できる状態にある。				○					
5	保育所保育指針を読み、参考にして指導計画を作成していますか？		○			保育所保育指針の全体像や、目指すべき子どもの姿、乳幼児の発達について、全職員で深められていない。					○			実行はしているものの、もう少し全体で振り返りを行う必要がある。	
6	清泉愛育園の方針を理解し、各園の保育計画をもとに指導計画を作成していますか？		○			年間計画で設定された目標や行事が、月案の具体的な活動やねらいに落とし込まれる際に、職員間での共通理解に差がある。					○			改善の余地あり。	
7	各クラスにおいて、月・週・日案などには、子どもの意欲を誘うものにのっていますか？		○			計画を作成したもの、保育中に子どもの興味が別の方向に逸れたり、予期せぬ発見があったりした場合に、計画を柔軟に修正・変更して子どもの意欲を誘う工夫の可能性がまだある状態である。				○				子どもの興味や状況に応じて、臨機応変に保育が出来ている為。	
8	実施した保育について（複数担任の場合は共同して）、職員自ら保育を評価・反省・次の指導計画にいかせていますか？		○			反省点や改善点が見つかったも、それが具体的な活動内容や環境構成の変更として次の指導計画に活かされていない部分がある。					○			より一層、向上を目指す。	
特別な配慮及び健康管理															
9	園児たちの発育・発達状況を把握し、職員全体で情報共有することで、日常の保育にいかせていますか？		○			情報共有として深い考察や意見交換の場をもっと設けていきたい。					○			全体での職員会議の機会を増やす。 カンファレンスを取り入れる。 参加が出来なかった職員に対しても共有していく。	
10	食物アレルギーなどの子どもに対して、医師の指導のもと適切な対応をしていますか？			○		アレルギーについては改善中。市町で決まっている用紙や内容を今後も伝え続けていく。職員内も意識の共有をしていく必要がある。				○				今年度の開始時と比べ、改善が進んでいる。 今後はより保育職員と調理職員とのやり取りを深めていく。	

11	日頃から問題の早期発見を心がけ、虐待や家庭内の問題が疑われる場合は、園長や主任、専門機関と連携をとりながら適切に対応していますか？		○			園内での共有は出来ている。専門機関との繋がり、取り組みも出来ている。今後、更に一人ひとりの取り組みを深めていく。	○				園全体で連携を図り、適切に対応している。
12	特別な配慮がいる園児に対して、園内で情報共有をし、専門機関と連携を取りながら対象園児への理解を深めるような取り組みをしていますか？		○			11同様	○				11同様
13	園内の感染症対策、急な怪我などの対応を職員らが理解し、実践できていますか？		○			基本的な知識や手順は理解しているものの、実践の徹底度や、組織全体での危機管理体制、または職員のスキルレベルに課題がある。	○				職員のスキルも上がり、環境も整備させている。
清泉愛育園グループの保育											
14	清泉愛育園グループの保育理念・各園の保育目標を理解し、実現できるような保育計画を立てていますか？			○		方針は個々が理解しているが、計画まで入れられているかの認識に課題がある。園の方針を言葉にして書き入れて改善していけるよう検討していく。		○			一人ひとりの念頭にはあるが計画案に文章化して書き込めるように改善していく。
15	子どもたちの自己肯定感を育む保育をしていますか？（自己肯定感を育む工夫を保育計画に入れていますか？）		○			自己肯定感の重要性は理解しているものの、それを育むための具体的な工夫や、計画から実践への落とし込みが十分でない。		○			園全体、また家庭とも連携を取り、統一した関わり方を行って自己肯定感を育んでいく。
16	園全体で「対話」を大切にして、人との対話を楽しむような保育や人の話を最後まで聞けるような指導をきちんと行っていますか？		○			対話の重要性は認識し、一部では取り組みが見られるものの、それが園全体で一貫して実践されていなかったり、意図的な指導計画に落とし込まれていなかったりする部分で検討課題がある。	○				子どもたちの主体性を尊重し、気持ちに寄り添った応答的な関わりを徹底している。
17	体力づくりのための活動を保育内容に取り入れていますか？		○			体操やマラソン等での体力づくりは夏場の暑い中は制限されるが、内容や場所を考慮して、もっと出来るのではないかと改善の余地あり。		○			修繕工事もあり今年度は行えなかったが来年度からは改善し取り入れていく。
18	園の食育方針を理解し、食べ物を大切にする「共食」「植食」を保育内容に取り入れていますか？	○				食育については、さつまいもやスィカの栽培を行っている。今後は調理の先生の保育への参加や食育を促進させていきたい。	○				
19	体力づくりのための活動を保育内容に取り入れていますか？										
経営・組織運営											
20	能率的・合理的な運営組織になっているか？	○				沢山の関係者が関わってもらっており、これ以上のスペシャリストはないのではないか。	○				
21	職員の配置、係の分担などは適材・適所か？		○			配置や分担は去年より改善されている。		○			今後も園全体で分担が出来る環境を作っていく。
22	各種会計を適正かつ適切に処理しているか？	○				会計処理に関する法令・基準が完全に遵守され、組織内部での管理体制と透明性が最高水準にある。	○				
23	定期的に個人面談が行われ、人事評価が適切に行われているか？		○			面談や評価の仕組みはあるが、その実施状況や内容、あるいは評価結果の活用方法に共通理解が不足している。		○			計画的に面談は実施されているが、評価結果の活用方法に共通理解が不足している。
24	職員の自己評価がきちんとできるよう、サポートがなされているか？		○			法人が代わり新体制になった為、今後サポートの体制がより整っていくと思われる。		○			来年度、継続して改善していく。
25	自己評価の内容が保育の質向上に反映されているか？		○			24同様		○			来年度、継続して改善していく。
26	保育所の自己評価のために、第三者（専門家・保護者・地域住民）からのフィードバックを受けているか？		○			各行事ごとまた年間1～2回は運営に関する保護者アンケートを行っている。専門家・地域住民という部分では今後の検討課題である。		○			専門家・地域住民という部分では今後の検討課題である。
27	各種会議を適切かつ効率的に進めているか？		○			会議は実施されているものの、その準備、進行、あるいは決定事項の実行と共有において改善の余地あり。		○			来年度から改善を行う為、次年度の結果で評価を行う。
28	職員それぞれが全体的な立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく、施設運営に関わっているか？		○			全職員の視野を広げ、自発的な行動を促すための組織的な仕組みと文化を確立していく。		○			職員一人ひとりが発言しやすい環境を作っていく。

教育・研修制度										
29	保育内容を向上させるため、園内で保育研究・研修がなされているか？		○			研修も増え、職員も参加しやすい環境になってきている。まだ前期は研修の経験が少ないので、結果として反映されにくい。		○		保育研究の面では課題あり。グループ園での合同研修等で『3分間スピーチ』やプレゼンなどを取り入れ、個人の保育研究を深めさせていく。
30	研究・研修の計画、運営は適切に行われているか？		○			研究・研修活動自体は実施されているものの、その内容、計画性、職員のニーズとの合致、または成果の園全体への還元において課題がある。		○		個人または担当クラスや持ち場で目標を掲げ、園内研修で振り返る機会や個々がスキルアップできる取り組みをグループ園で統一して行っていく。
31	研究・研修の成果を日常の保育内容にいかせているか？		○			研修への参加や研究自体は行われているものの、その内容が現場の保育士の行動や指導計画、保育環境の具体的な改善にまで反映できていない。		○		30同様
32	外部研修会・講演会などへの参加を積極的に図っているか？		○			外部研修への参加は実施しているものの、その機会が十分でなかったり、職員間に偏りがあったり、参加後の成果が明確でなかったりする。		○		30同様
33	外部研修会・講演会などに参加した場合、内容を園内に還元しているか？		○			研修報告をコドモン機能にて閲覧可能になった為、職員間で内容を共有していける。キャリアアップ等、報告の機会ももてるとより良いのではないかと。		○		30同様
34	園児や保護者に関する「個人情報」を適切に取り扱っているか？	○				情報を取り扱う全プロセスにおいてリスク管理が行き届いている。	○			30同様
情報・設備・施設管理										
35	公文書收受・発送・処理を適切に行なっているか？	○				文書管理に関する法令や規定が完全に遵守され、收受から廃棄・保存に至るまで、全てのプロセスが正確、迅速、かつ組織的に行われている。	○			
36	パソコンやタブレット（各種システムやコドモン）はパスワード設定をし、利用しない時は施錠管理できる場所に保管しているか？	○				個人情報保護と危機管理の観点から、定められたルールが組織全体で厳格に遵守されている。また、コドモンなどの各種システム全てにおいて、パスワード設定が義務付けられている。	○			
37	施設内外の設備の安全点検を計画的に行なっているか？	○				安全点検に関する法令・基準が完全に遵守され、組織的、計画的、かつ継続的な点検・改善サイクルが確立している。	○			
38	遊具・用具などを活用しやすいように整理・保管しているか？	○				砂場用具、おもちゃなど定期的に消毒や洗浄が行われ、衛生的に保たれている。また、破損したり、安全性が損なわれたりした遊具・用具は、直ちに使用を中止し、修理または廃棄を行っている。	○			
39	不審者などに対応する周到な配慮を行なっているか？		○			不審者訓練を行っている。今後、より内容を深めていけるとより良い。	○			後期途中で非常通報装置も設置された。専門家の指導を受けながら、こまめな玄関施錠も行っていく。
開かれた保育所づくり										
40	掲示板・掲示場所などを適切かつ効果的に活用しているか？	○				園内の各掲示場所（玄関、各クラスの前、事務所前など）に連絡事項等が分かりやすく掲示されている。	○			
41	他施設との年間交流計画は保育目標や課題に沿ったものになっているか？		○			近隣小学校等との架け橋プロジェクトもあり、数回すでに参加している。情報共有も行い、園や学校を行き来する機会もある。		○		小学校との連携に向けて架け橋プロジェクトも引き続き行っている。今後はグループ園同士での園児や職員の交流も行っていきたい。
42	他の施設の職員同士が、研修や交流の機会を持って、互いの保育・教育に対して理解を深め相互にアドバイスできるような関係を構築できているか？		○			グループ園の職員同士の交流の場はあるが他の施設との交流の機会はまだ少なく、継続的な交流は行えていない。		○		グループ園と交流保育を行う。
43	他の施設と日常的に情報交換をし、それを交流活動に生かしているか？		○			42同様		○		42同様
44	保育参観日を設定しているか？			○		今年度は園舎修繕工事のため見送り。次年度以降、計画し設定・検討する予定。			○	来年度、実施予定。
45	保護者を含む地域の人材活用をしているか？			○		自治会の花植え等地域の事や方々との交流を保育内でもっと増やしていけるのではないかと。		○		来年度、実施予定。
46	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか？	○				津まつりに参加したり自治会の花活動に参加したりしている。	○			

4 7	地域の子育て支援センターとして、園の開放をしているか？				○	4 4 同様 支援センターとしては開所していない。				○	支援センターとしては開所していない。
4 8	地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか？				○	地域の子ども同士が遊ぶ環境としては設定していない。				○	子育て支援事業として園庭開放を少しずつ実行していく。
4 9	職員による「子育て相談」や保護者を対象にした学習の機会を設定できているか？		○			以前は相談の機会が特定の曜日や時間帯に限定されていたが、現在は実施できておらず、今後は仕事を持つ保護者など、全ての保護者が利用しやすい多様な時間帯や方法（例：オンライン、電話）での相談窓口整備への検討が必要である。			○		窓口としての制度を整備し、相談しやすい雰囲気をつくり、また情報提供も丁寧に行っていく。
5 0	医療機関・児童相談所などの専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供できているか？	○				医療機関（小児科など）、児童相談所、発達支援センター、保健センターなど、多様な専門機関と定期的かつ継続的な連絡・連携体制が確立している。			○		
5 1	保育所の情報を発信しているか？（お便り・ホームページ・SNSなど）	○				それぞれの特性に応じて適切に媒体を使い分け、情報の確実な到達と理解を促進している。			○		
外部評価											
5 2	第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか？				○	今後実施予定。				○	今後実施予定。
5 3	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか？		○			保護者意見は聴取をする機会があるが、地域の意見の反映は一部に留まっている為、今後意見を聴取する仕組み作りが必要である。			○		地域や保護者の意見を反映できるように努めている。